

わかりやすい家族心理学

榎本博明著

A5判・約270頁・2色刷・予価2400円

家族というものはあまりに身近なため、それが何であるかを考えることは少ないかもしれません。そのため、家族とは何かと改めて問われると、その答えは人によってさまざまではないでしょうか。本書では、そのような家族を対象とした家族心理学について、わかりやすさに定評のある著者が丁寧に解き明かします。初めて学ぶ方から心理職を目指す方まで、おすすめの一冊です。

主要目次 家族心理学とは 家族の機能とその変容 家族の心理構造 結婚への態度 夫婦関係の心理 親の心理 親子関係の心理 家族のライフサイクルと発達段階 次世代を育てるのに不可欠な養育性 児童虐待 夫婦間暴力 子どもにみられる諸問題

読んでわかる神経心理学

八田武志・吉崎一人・東川麻里著

A5判・184頁・2色刷・定価2530円

本書は、神経心理学をはじめて学ぼうとする方のための教科書です。公認心理師制度発足を踏まえ、さまざまな状況下で多職種で構成されるチームにおいて心理職がコミュニケーションをとることを想定し、脳と行動の関連についての基礎的な知識を得ることができるよう努めました。視覚的な理解にも配慮し、図表類を多く用いて2色刷としました。心理職を目指す方におすすめの一冊です。

主要目次 神経心理学とは 脳の解剖学的基礎 脳の側性化——左右大脳半球機能差 物体認知とその障害 注意とその障害 言語の障害 行為の障害 記憶の障害 遂行機能(実行系機能) 神経心理学の研究法と神経心理学検査

読んでわかる心理学

清水寛之・瀧川真也・榎 洋一・山本晃輔著

A5判・216頁・2色刷・定価2640円

本書は、これから心理学を学ぼうとする方に向けた入門・概説書です。各論や専門領域に向かってさらに学習を進めたいように、図表やイラストをふんだんに載せ、心理学の世界をわかりやすく説明します。また、日常生活の出来事や具体例を数多く取り上げることで、心理学への興味・関心を促し、学習への動機づけが高まるように努めました。心理職を目指す方の導入ともなる一冊です。

主要目次 心理学とは——心と行動の科学 感覚と知覚 学習 記憶 思考と意思決定 知能とコミュニケーション 生涯発達 パーソナリティ 動機づけと感情 神経生理学的基礎 社会と文化 臨床実践と心理的支援 メンタルヘルス

グラフィック社会心理学 第3版

池上知子・遠藤由美著

A5判・344頁・2色刷・定価2970円

本書は、定評ある社会心理学入門テキストの最新版です。旧版の骨子を踏まえつつ、近年の学問動向が十全に反映されるよう編成しました。第I部「社会的認知」では、社会的世界と自分自身の認識について、第II部「他者との関わり」では、社会的存在としての人間の特質を、第III部「社会で生きる」では、人間が社会でよりよく生きるためには何をすればよいかについて、解説しています。

主要目次 社会心理学とは 対人認知 社会的推論 態度 感情 社会的自己 自己と他者 人間関係 集団と個人 愛他性と援助 攻撃性 偏見と差別 健康と幸福 社会と人間——持続可能な社会に向けて